
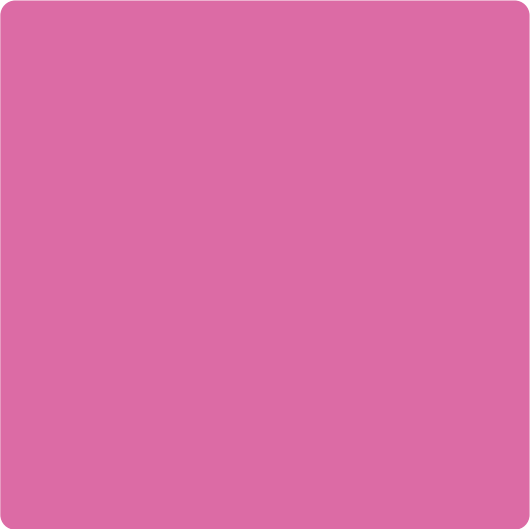




センコーグループ
第103期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



センコーグループ 第103期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

グループ企業理念

ミッション 普遍的な使命

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、
物流・商流事業を核に、未来を動かす
サービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、
真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。

ビジョン 目指す企業グループ像

未来潮流をつくる 企業グループ

スローガン ミッション&ビジョンに込めた思い

Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

バリュー グループの全社員が共有する価値観 (IP CReD)

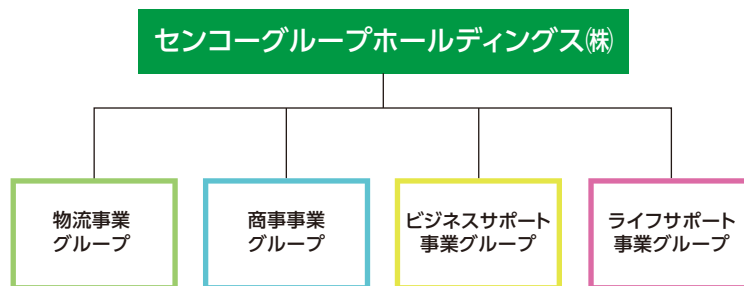
誠実・情熱・責任・敬意・多様性

Integrity Passion Commitment Respect Diversity

目次

- 1 グループ企業理念・体制
- 2 株主の皆さまへ
- 5 セグメント別の概況
- 7 フォーカス
- 9 トピックス
- 11 CSR
- 13 財務諸表グラフ

グループ体制



中期経営5ヵ年計画の4年目。厳しい事業環境の中、グループ一丸となって、持続的な成長を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第103期における営業の概況と決算につきまして
報告申し上げます。



センコーグループ
ホールディングス
株式会社

代表取締役社長

福田 泰久

当期の事業環境

当期の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、米中の貿易摩擦による海外経済の減速顕在化、消費増税前の駆け込みと増税後の反動などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。特に、第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響により、非常に厳しい経営環境となりました。

当期の取り組み

中期経営5ヵ年計画「センコー・イノベーションプラン2021(SIP21)」の3年目として、業容の拡大と強化などに取り組みました。

物流事業では、センコー株式会社が5月に「印西ロジスティクスセンター」(千葉県)、10月に「大分PDセンター」(大分県)、2月に「尼崎PDセンター」(兵庫県)をそれぞれ稼働させました。また、株式会社ランテックが7月に「関西支店」(兵庫県)で冷凍冷蔵倉庫を稼働させました。

海外では、タイの大手外食チェーングループである「MK Restaurant Group Public Company Limited」との合併会社である「M-Senko Logistics Co., Ltd.」が10月に3温度帯(冷凍・冷蔵・常温)の「M-SENKO ロジスティクスセンター」を稼働させ、タイ国内でのコールドチェーン展開を図っています。

商事・貿易事業では、アスト株式会社が大手量販店グループ向けの家庭紙製品の取り扱いを全国的に開始いたしました。

ライフサポート事業では、新規出店を積極的に進めています。デイサービス店舗などを運営する株式会社ビーナスは11カ所、フィットネスジムなどを運営する株式会社ブルーアースジャパンは初めての海外進出となるフィリピンのセブ島を含む6カ所、住宅型老人ホームなどを運営する株式会社けいはんなヘルパーステーションは2カ所、新規出店いたしました。

ビジネスサポート事業では、東京都江東区潮見の本社敷地内で建設を進めていた「東京イーストサイド ホテル 榎会」が2月にグランドオープンいたしました。

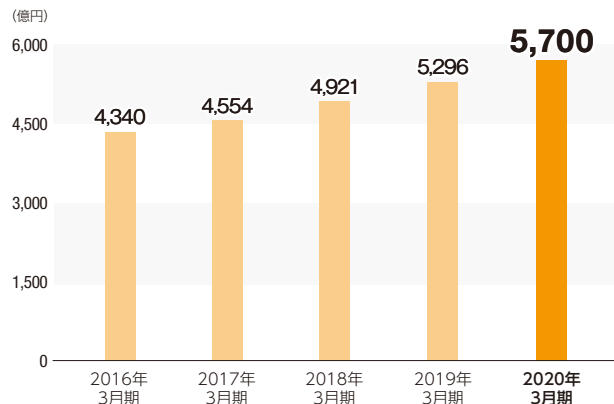
環境負荷低減への取り組みについては、日本物流団体連合会から、6月にセンコー株式会社と株式会社ランテックがそれぞれ「物流環境特別賞」を、11月にセンコーグループ4社が「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞いたしました。

当期の業績結果

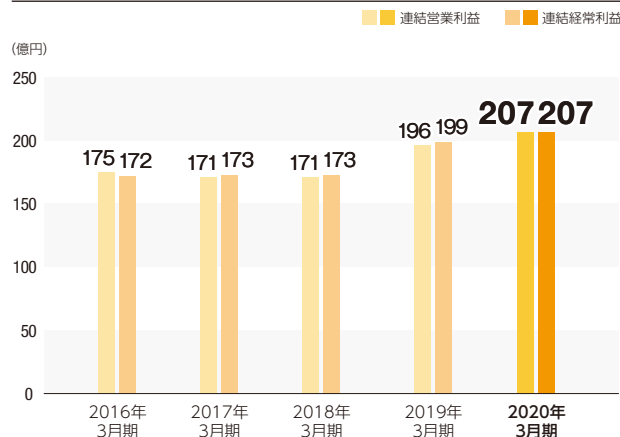
連結営業収益は、拡販や料金・価格改定の効果、物流センターの開設効果、海外のグループ会社及びライフサポート事業会社を連結子会社化したことなどにより、5,700億300万円と対前期比404億21百万円の増収となりました。

利益面におきましては、外注費の上昇などのコストアップ

連結営業収益(売上高)



連結営業利益／連結経常利益

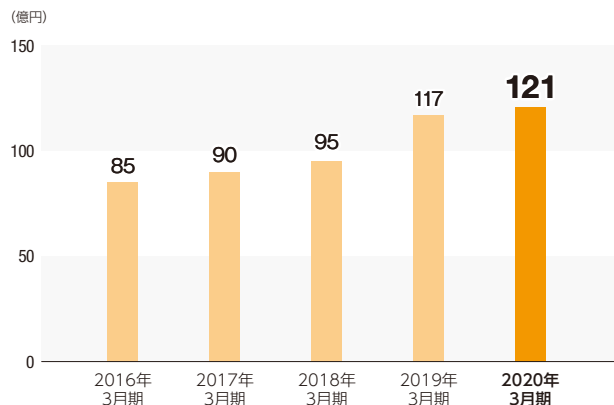


及び新型コロナウイルスの感染拡大の影響がありましたが、先に述べた増収効果、生産性向上の取り組みなどにより、連結営業利益は206億56百万円と対前期比10億24百万円の増益、連結経常利益は207億44百万円と対前期比8億68百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は120億81百万円と対前期比3億99百万円の増益となりました。

今後の取り組みと見通し

世界的な拡大を見せる新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行きは極めて不透明な状況にあります。このような状況のもと、次期の業績予想については、現時点において合理的に算定することが困難なことから、未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益



年間配当金は予定通り26円

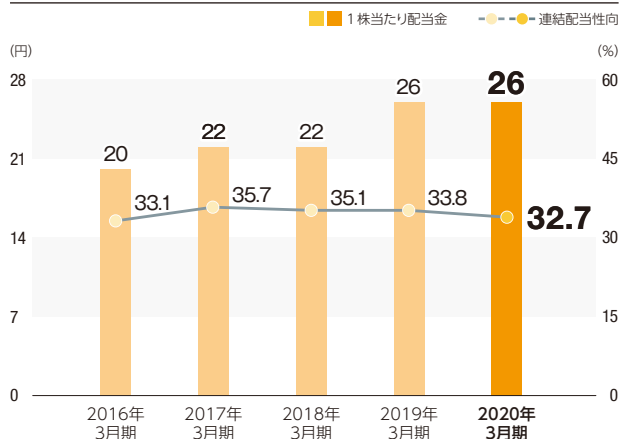
当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

この基本方針のもと、期末配当金につきましては、従来の予定通り1株当たり13円とし、既の実施している中間配当金13円と合わせまして、年間配当金を26円といたしました。次期の配当予想につきましては、現段階では未定とさせていただきます。合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

1株当たり配当金／連結配当性向



当期(第103期)のセグメント別(事業別)の概況をお知らせします

物流事業 営業収益 **3,927** 億円 構成比 **69%**

前期並びに当期に稼働させた物流センターの開設効果、拡販や料金・価格改定の効果、海外のグループ会社7社を連結子会社化したことなどにより、営業収益は3,927億28百万円と対前期比173億43百万円の増収となりました。



流通ロジスティクス

事業収入 **2,226** 億円

当期の収入は2,226億円と対前期比141億円の増収となりました。



住宅物流

事業収入 **632** 億円

当期の収入は632億円と対前期比10億円の増収となりました。



ケミカル物流

事業収入 **766** 億円

当期の収入は766億円と対前期比28億円の増収となりました。



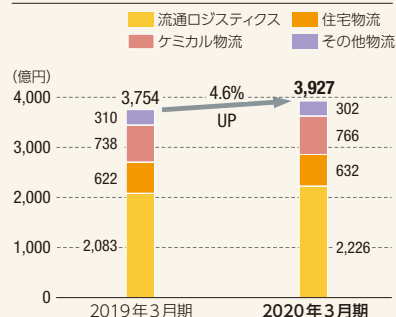
その他物流

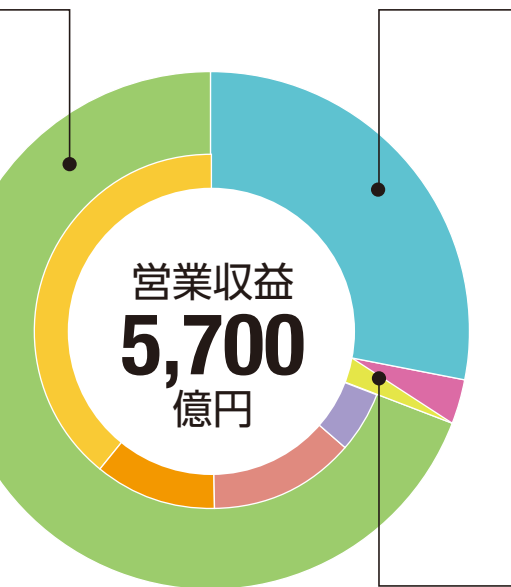
事業収入 **302** 億円

当期の収入は302億円と対前期比5億円の減収となりました。



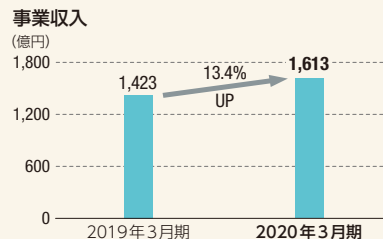
事業収入





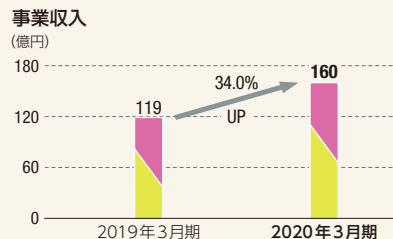
商事・貿易事業 営業収益 1,613 億円 構成比 28%

大手量販店グループ向けの家庭紙の拡販などがあり、営業収益は1,613億14百万円と対前期比190億20百万円の増収となりました。



その他事業 営業収益 160 億円 構成比 3%

飲食事業会社の連結子会社化、介護・フィットネス店舗の新規出店、ホテル開業などの事業拡大などがあり、営業収益は159億87百万円と対前期比40億57百万円の増収となりました。



物流コンサルティング

昨今、物流が戦略として語られ、サプライチェーンを通じた全体最適が物流の優劣を決するといわれています。

その優位性を生み出すため、物流を科学的にとらえた戦略的なコンサルティングとサードパーティロジスティクス(=3PL)で、お客様のロジスティクスの高度化を実現しています。



情報システム

40年を超える年月で培ったセンコーグループ各社の情報化ノウハウの展開に加え、AIやビッグデータといったデジタル・テクノロジーを活用することで、サービスやビジネス・プロセスの機能や効率を高め、お客様のさらなる企業価値向上を実現いたします。



ビジネスサポート事業は、 グループのリソースを利活用して、 多彩なビジネスにチャレンジしています

人材派遣

センコーグループで培った物流技術・知識・品質を併せ持つ、柔軟な人材の提供サービスを行っています。

人材派遣・人材紹介・アウトソーシングに力を入れ、お客様のさまざまなご要望に柔軟に対応いたします。



不動産

不動産の売買・仲介、土地の造成・開発、建築工事のコンサルティングなどを行っています。

センコーグループが所有するさまざまな建築物の新築・改築に伴う、用地取得、建築企画、施工、ビルマネジメントまでをトータルに手掛けています。



■ コンタクトセンター

コンタクトセンター業務全般をサポートしています。

WEB通販の運営代行、お問い合わせ窓口や受注受付だけでなく、アンケート調査やテレマーケティングなどの業務まで、豊富なノウハウをもとに、お客様のニーズに合ったサービスをご提供いたします。



ビジネスサポート事業は、お客様の多様なニーズに対応した「最適な物流システム」を実現するため、物流コンサルティング事業やITソリューションシステムの開発と運用を行う情報システム事業を展開しています。また、不動産や人材派遣、通販事業者向けのコンタクトセンター、ホテル事業なども行っています。

■ 保険サービス

グループ内の法人保険から始まり、今では保険事業以外にも、旅行事業・カーリース事業・小売電気取次業と幅広い事業を手掛けています。

お客様の身近で頼れるパートナーとして快適な生活に貢献し、「住まいの総合代理店」を目指しています。



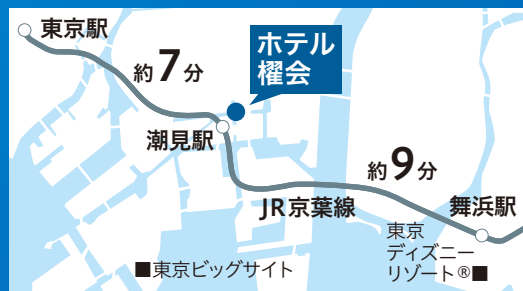
「東京イーストサイド ホテル権会」 グランドオープン!

2020年2月、センコークリイティブマネジメント(株)が「ホテル権会」をグランドオープンしました。“お客様の記憶に残るホテル”を目指して、皆さまをおもてないたします。



東京駅、東京ディズニーリゾート®から 10分の駅前

東京駅からJR京葉線で3駅目、「潮見」駅前に位置する「ホテル権会」は、舞浜やお台場エリアへの好アクセスも魅力の1つです。



センター増設により国内外の物流事業を強化し、 ライフサポート事業の拡大にも力を入れてまいります。

■ 尼崎PDセンターが稼働。 大阪・神戸の2都市圏をカバー

2020年2月、センコー(株)は兵庫県尼崎市に「尼崎PDセンター」を開設しました。延床面積4万4千m²、両面トラックバース(接車88台)、ドックレベラー(10台)などを備え、高い保管・荷役効率と効率的な輸送が可能です。

同センターは、大阪市の中心部から8km圏内、阪神・名神両高速インターから至近で、大阪・神戸の2大都市圏を広域にカバー。大阪・神戸港に近い立地も活かし、国内外での一貫輸送サービスも計画しています。

関西地区では大阪・滋賀を中心に大型物流センターを開設してきましたが、西神戸PDセンターに次いで尼崎PDセンターを開設したことで兵庫県内の拠点を増強し、関西地区の事業基盤をさらに強化しました。



■ タイで冷凍・冷蔵物流センターが竣工。 No.1 コールドチェーンを目指します

2019年10月、タイの合併会社M-SENKOがサムトプラカーン県に3温度帯の「M-SENKO ロジスティクスセンター」を竣工させました。約5万3千m²の敷地に、延床面積約2万2千m²の建物、冷凍・冷蔵の自動倉庫、可動ラックを備え、幅広い保管温度帯に対応します。

新センターはバンコク市内から車で約30分、スワンナプール国際空港から約23kmと配送利便性の高い好立地にあります。また、日本で培った冷凍・冷蔵物流技術や人材教育ノウハウの活用などで、日本国内と同水準の細やかで高品質なサービスを提供。M-SENKOのグループ会社が運営するMKレストランへの食材供給に加え、新規顧客の開拓を図り、タイでNo.1のコールドチェーン展開を目指します。



創業100年の歴史⑨

人々の健康、暮らしを支援するライフサポート事業をさらに拡大しています

山梨県の(株)ブルーアースジャパンは、小型スタジオに特化した24時間営業のフィットネスジムMY-BODYの出店を加速。山梨県のほか、東京、フィリピンのセブ島など、国内外で事業拡大を図っています。

大阪府の(株)ビーナスは、運動とリハビリに注力したデイサービス施設を新たにオープン。食事サポートしたいとの思いから、堺市でシニア向けの夕食宅配サービスもスタートさせました。

今後もライフサポート事業の一層の拡大に取り組み、物流、商事・貿易事業に続く第3の柱に育てていく計画です。



MY-BODY 山梨中央店



ビーナス健康弁当 食べてんか



「センコーグループ公式インスタグラム」
アカウント開設

【アカウント名】
senko_group.official



さまざまな事業内容、クラブ活動など
幅広い話題をほぼ毎日発信しています!ぜひご覧ください。

未来潮流をつくる企業グループへ

2隻の船舶による海上輸送と熊本県・水俣での工場内物流からスタートした当社は、2016年9月、創業100周年を迎えました。2017年4月、持株会社体制に移行し社名をセンコーグループホールディングスへ変更するとともに、新たな企業理念を策定しました。物流事業では、冷凍冷蔵や海外での事業展開を拡大するとともに、物流センターの省人化・機械化、モーダルシフトを進め、付加価値が高く環境に配慮した物流を提供しています。さらに、物流、商事・貿易に続く第3の柱を育成するため、ビジネスサポート・ライフサポート事業などの新分野を強化しています。



有料老人ホーム「トゥインクル瀬田」(滋賀県大津市)
*ライフサポート事業

CSRを経営の重要施策の1つとして 積極的に取り組んでいます

地域・各地の産業、文化、自然を守り、育て、社会とともに成長するため、当社グループはCSR重視を経営方針の1つとして取り組んでいます。ここではその取り組みの一部をCSR報告書の中から紹介します。



CSR 報告書は当社 WEB サイトで
ご覧いただけます。

<https://www.senkogrouphd.co.jp/csr/report/>

「人々の生活を支援するセンコーグループ」を目指し、 農業にも取り組んでいます

地域の雇用・産業の創出に貢献

(株)センコースクールファーム鳥取では、農業による新たな産業の創出にも尽力しています。高齢者や障がい者を雇用した福祉型農業からスタートし、地域の産業振興と雇用創出に欠かせない企業として、地域の持続的な発展に貢献しています。



最新技術を駆使した植物工場で安定生産

完全閉鎖型の植物工場で、温湿度やLEDによる分光や光量、CO₂、養液成分などをコントロール。季節や天候に左右されず、安全・安心な無農薬野菜の安定的で効率的な生産を実現しています。



環境活動

「モーダルシフト取り組み優良事業者」として 4件を受賞

輸送の大型化、海上輸送への転換、空スペースの活用などの取り組みにより、(社)日本物流団体連合会から第20回物流環境大賞の「特別賞」を2件、「モーダルシフト取り組み優良事業者」として4件、受賞しました。



社会活動

ホテルに美術大学・専門学校の 生徒の作品を展示し、芸術家養成の一助に

2020年2月に開業した「ホテル権会」では、美術大学や専門学校の学生の作品を展示しています。芸術家養成の一助として、今後も継続的に若手芸術家に作品発表の場を提供してまいります。



安全活動

危険品の全国管理体制を構築。 タンクローリーの乗務は試験合格者のみに限定

「危険品エリア責任者」を全国12エリアに配置し、危険品に関する情報共有を行い知識・技能の強化を図っています。タンクローリーへは、社内認定試験制度による厳しい試験に合格した者のみ乗務を行っています。



健康活動

健康経営優良法人～ホワイト500～に 3年連続で認定。 グループ会社も中小規模法人部門に認定

センコーグループは「健康経営優良法人2020(大規模法人部門(ホワイト500))」に3年連続で認定されました。また、「健康経営優良法人2020」中小規模法人部門に、豊橋センコー運輸(株)、ハーコブ(株)が認定されています。



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

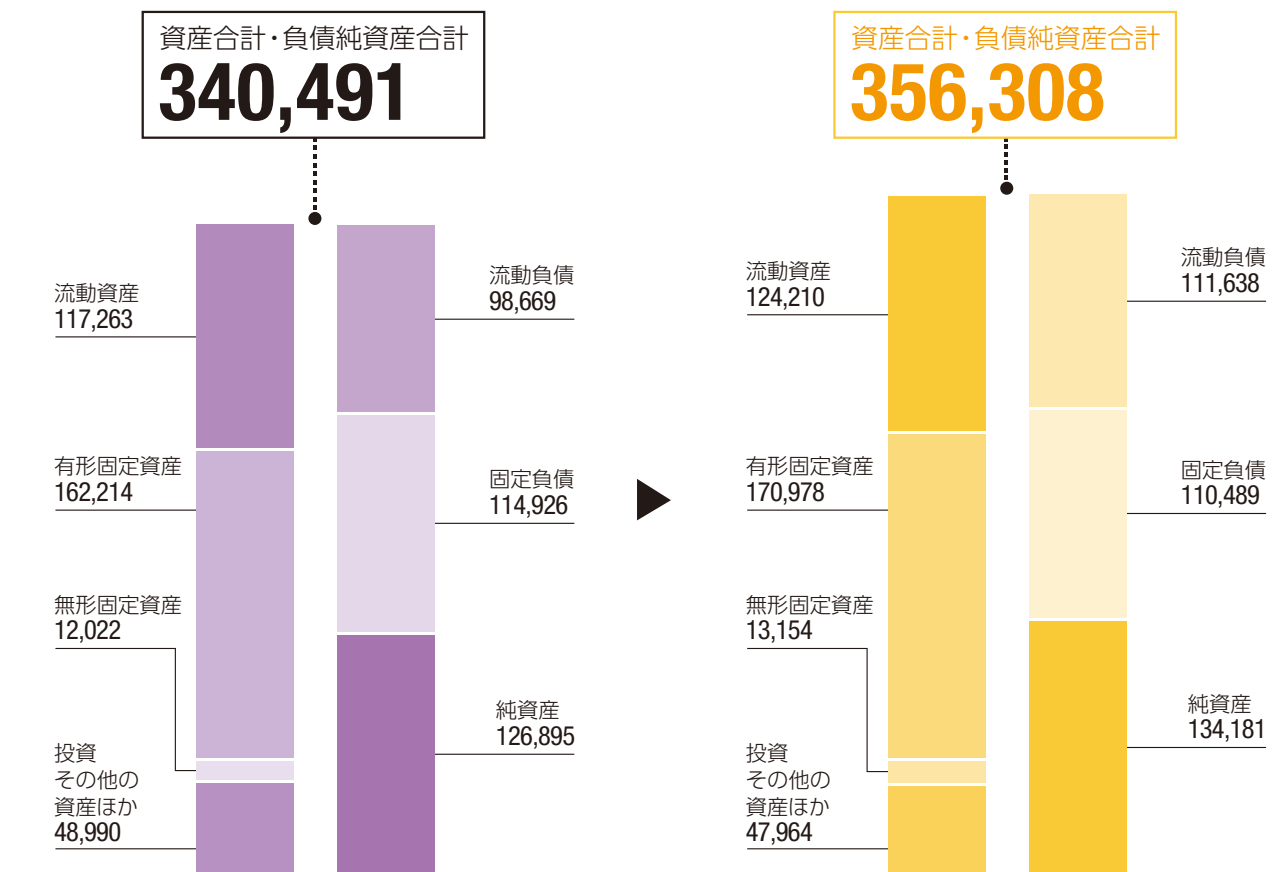
連結財務状況

貸借対照表の概要

単位：百万円

2019年3月31日

2020年3月31日



詳細な財務諸表は、下記URLもしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.senkogroupd.co.jp/ir/library/brief/>

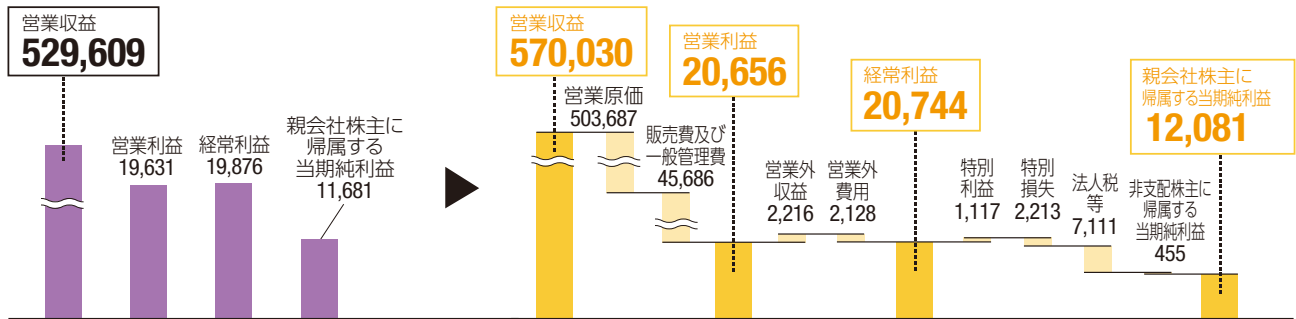


損益計算書の概要

単位：百万円

2018年4月1日～2019年3月31日

2019年4月1日～2020年3月31日

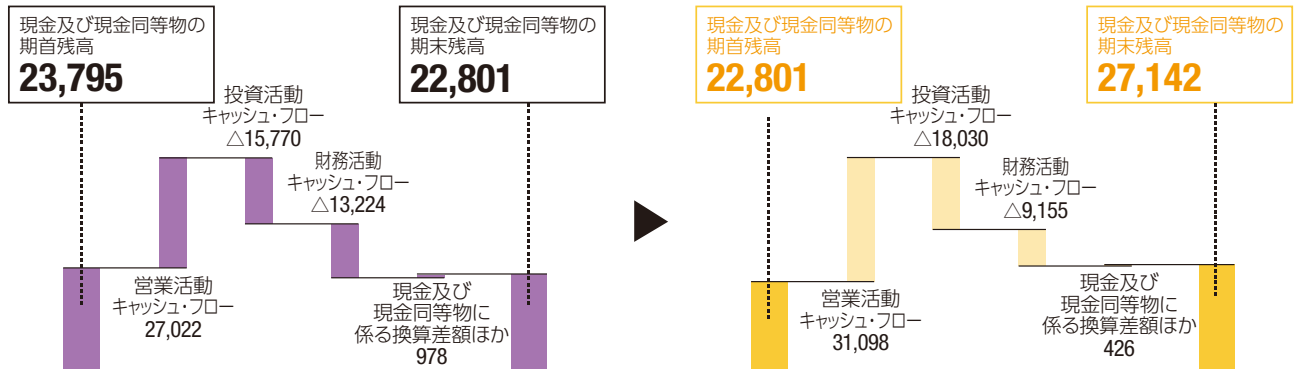


キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2018年4月1日～2019年3月31日

2019年4月1日～2020年3月31日



会社概要

(2020年3月31日現在)

商号	センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co., Ltd.)
創業	1916年9月
設立	1946年7月
本社所在地	東京都江東区潮見二丁目8番10号
資本金	265億28百万円
グループ従業員数	17,644名
グループ会社数	131社(子会社121社、関連会社10社)

役員

(2020年6月25日現在)

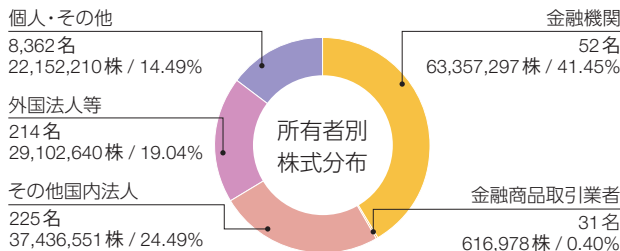
代表取締役社長	福田 泰久	常勤監査役	松原 圭治
取締役常務執行役員	佐々木 信郎	常勤監査役	鷺田 正己
取締役常務執行役員	白木 健一	常勤監査役	安光 幹治
取締役常務執行役員	上中 正敦	常勤監査役	松友 泰
取締役常務執行役員	村尾 進一	常務執行役員	大野 茂
取締役	山中 一裕	常務執行役員	竹谷 聡
取締役	米司 博	執行役員	篠原 信治
取締役	谷口 玲	執行役員	小久保 悟
取締役	飴野 仁子	執行役員	増田 康裕
取締役	杉浦 康之		
取締役	荒木 葉子		

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	294,999,000株
発行済株式総数	152,861,921株
株主総数	8,885名

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.senkogrouphd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内
税務関係のお手続きのため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。お届出のお手続きについては、口座を開設されている証券会社などへお尋ねください。

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

 センコーグループホールディングス株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目8番10号

URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>